

阪府
外國事務日誌

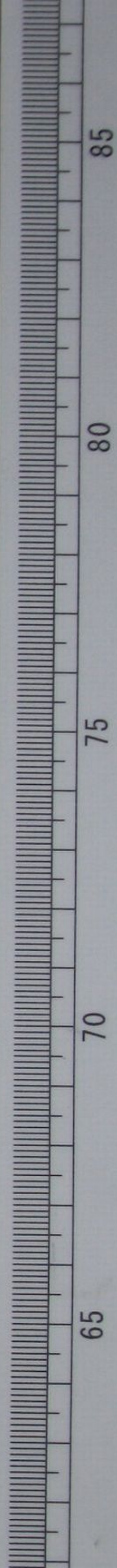
明治戊辰十月新鑄

第一号

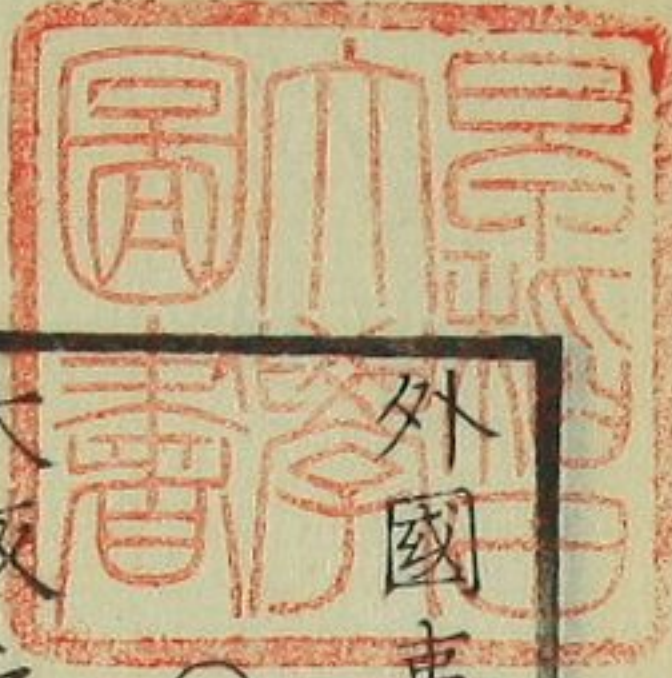
西垣文庫

文庫 10

7273



特 文庫10
7273



外國事務日誌第一

自辰七月十五日至八月

西瀛文庫

大阪之義ハ兼而開市之御條約小以處今般
 御一新小付改而開港被 仰出於橫濱各國公使江
 左之通御布告相成
 以書翰申入以然者大阪開市之儀各國公使等と協
 議之上開港之積小弥治定ハハハ間此段申進以
 尤江戸表之義者向來萬一開港と御申立有之ハて
 も右者難成同所者開市之積小付其段者兼而御承

知置有之度為念申進以右之趣得御意以上

辰五月廿八日

東久世中將

英米佛以蘭等

六公使閣下

○大阪開港規則

第一則

一用辨便利のため居留地近辺不在る運上所之外
小安治川波除山近辺不出張運上所可取建事

第二則

一商船入出港手數者本運上所小限以事

第三則

一臨時風波より寄陸より碇泊船江通船難出來四十
八小時則我二十四時の間小入港手數難相整義
も可有之の間外國商船入港いりり入碇
次第運上所役人速に商船一艘毎小可差遣右役
人船より上る事正敷通船相成以現證より得者風
波小より取極刻限中入港手數不相整節者其船
長より港内入碇の月日時時刻書記一右之書付役

河江可相渡事尤船中江相越一以役人々一船毎
の船長江此規則書寫々相渡可申事

第四則

一大阪港之里方の儀者追而日本役人々各國岡士
と立會之上取究追而日本役人より標木可取建
事

但標木取建方者日本政府におひて可取計事

第五則

一港里方中小おひて輕荷取捨る事上付而者各國

岡士小於而嚴重可取扱事

第六則

一荷物陸揚船積之義者其之免取極たるニケ所ニ
限るべし若於相背者条約ニ極免るる通り可取
揚事

第七則

一右陸揚場之外居留地内ニ上る場ニケ所可取建
事

但荷物陸揚船積るるを於此陸揚場取扱事

禁_レズ

第八則

一或_レ蒸氣船或ハ帆前船試_レの_レ色運轉又ハ遊行
其外運轉_レて港外江出_レ節者其船長より其
國岡士江可相届左_レ得者岡士より運上_レ江可
致通信事

但本船番士者卸_レズベ_レズ

第九則

一日本祝日祭禮日并_レ日曜日休業日者荷物陸揚

船積_レ不免_レ事

但前以免狀申請有_レ之且改相濟有_レ之ハ分運上
江相届_レ上可差免_レ飛脚船之如_レハ祝日
祭禮日等之休業日とい_レども陸揚船積_レズ
願書小岡士館印鑑又ハ岡士之裏書有_レ之ハ
ハ可免_レ之

一於日本休業日左之通り

正月三ケ日	同	七月七日	同
五月五日			
六月廿五日			

十四日より
十六日まで

八月一日 九月九日

天皇御誕生日 同 廿二日 十二月 廿七日より晦日まで

但十二月廿七日廿八日の兩日ニ限り朝九
字より十二字迄ハ要用ト可取扱事

一 西曆五月より十月迄の間者朝九字より夕五字
迄十一月より四月迄者朝十字より夕四字迄之
以内入出港手數其外要用可取扱事

但右刻限之外よりハ非常之用向者各國岡
士之願書有之節者可取扱事

第十一則

一 收税ニ付荷物日本開港地 江若商人積送りハ
節左ニ書載スル期限之内積送先之運上所より
陸揚荷物書付不差出節者其當然之税ト相納ベ
ク段證書可差出又海外 江輸出禁制品物日本開
港地 江積送りハ節期限之内陸揚之書付不差出
節者其品之價金可相納段證書可差出ハ事
但長崎横濱六十日限箱館新瀉六ヶ月限リ

第十二則

一 荷物改濟之上陸揚場より二十四時間と過し差置
在之節者即右荷物借庫江相納其庫敷ハ其荷主
又ハ引請人より可差出事

第十三則

一 多量之火薬ハ勿論烈性爆發之品者居留地内ニ
陸揚場ニ置くべ其ため追々借庫可取建ハ得ト
モ即今之儀ハ天保山臺場内火薬庫江相預リ可
置ハ庫鋪之義者追而可相定事
但右庫江相預リ度望之者ハ運上所江可訴出

尤取出ハ節ト準之

右之規則者西曆千八百六十八年第八月廿七日日
本慶應四辰年七月十日左之人名會盟して条約を
ス處也併若可改ケ条約ハ西曆第九月一日よ
リ六ヶ月之後ニ至リテ一般及ビ二三ヶ条之規則
トハトモ左之人名會議して以テ可得改メ也

米國岡士スコットステソルト

英國岡士アイエフラウダ

寺國副岡士イウルス

蘭國副岡士ヒストロユス

日本 大阪府權判事 五代才助
外國官權判事

○大阪開港規則附錄

第一則

一 輸出入荷物免狀專ら於本運上可相請併一輸入之免狀者其荷主之願小因り安治川出張運上可小於ても可相請同所於いゝ輸入荷物免狀受の節者其船江士官乘込陸揚場迄相送り於同所荷物改濟之上引請人江相渡以欵又者借庫江

可相收事

第二則

一 輸出入荷物勿論神戸より積送の荷物に至る迄安治川運上所出張役所小船と寄可相届右様荷船入津之節者出張役所小おいゝ早速士官乘込運上所下及び居留地之陸揚場迄相送可申荷船出の節者其出船之陸揚場より士官乘込出張役所迄相送右士官より不正之船に而無之段相届荷物改濟之上ハ早速出船いたるべく若改不相濟荷物者遅刻

無之様可相改若荷船出張役所不立寄乗抜ハ節
者取押抜荷同様可取扱事

第三則

一輸出之荷物積ハ船者安治川ハ限り通航ハたハレ
ク若外川ハより運送致ハレハ其荷物條約面
基取揚ラるベキ事
一輸入之品ハ於日本政府出張運上所より川口洲之
先迄深さ十フートより十四フート迄ハ浚方出來
ハ迄安治川并ハ水津川より通航不苦尤右荷船江

役人一人一番之番所より本運上所迄上乘可致事
外川々より運送之輸入品者其番所より差止荷船
ハ安治川口ハ可相廻事但風雨之節者尻無川一番
之番所迄風雨ハ避けハたハ免相廻事可差免
事

右三ヶ條英吉利等漏生兩國者其岡士當所ハおいて
約定ハ外米佛蘭者於横濱東久世中將殿右三ヶ國公
使ハ協議決定ハたハ事

○三川番所掟

三川番所之儀者大阪開港取締樞要之地理に而貿易輸出入荷物相改の儀專務之事に間第一礼義と正し廉直と昔と至精と盡し勉強可致の勿論私欲と貪り奸曲と謀り不作法之所業等在之候而者

御一新際内外の對し實以不相濟事の候間未と迄も深く御趣意の貫通致し互に長短相補上下水魚之交りとする各職掌の勵み可盡忠誠候尤從來番所之流弊とく上位の頂き自己之權威の募り非道

之所業間々在之事不候然らず三川之儀者晝夜無數之大小船出入致し多端之荷物點檢致候儀に付偏し仁愛と垂き厚意と盡し下難澁不致様速に相改通船可差免儀緊要に候事

辰七月

○大阪市中觸書

一大阪之儀者是迄開市之御条約にて川口江外國商船碇泊致し荷物輸出入不相成稅銀等都て於神戸港收納いたし來し處今般開港之御条約に相成明

十五日より御取開之筈候就而者追々交易盛大相開べく候不付扱荷密商其外御取締之為安治川水津川尻無川之三川江船改番所取建出入之大小船嚴重可相改候に付左之通可相心得候

一三川番所通船之節者如何様之急事よりとも番所下江船と着け改と可請事

一外國人交易荷物之儀者安治川而已より輸出入いた候御条約に付外川筋より輸出入いた候儀不相成候条於川口外國本船より上荷船等江積移

陸揚いた候節若臨時風波不寄て不得止水津尻無之兩川江乗入候節者則番所江成行相届所持之艦楫權預け可置候而風波静り以上安治川口江乗廻可申事

但番所とも不相届乗扱候者於有之者船荷物取揚以上船主船頭迄も嚴重可及沙汰事

一外國人荷物輸出入いと一節者運上所におわく御条約之規則も有之候に付居留地一ヶ所都合二ヶ所波戸場におわく積卸可致候に左候而荷物積

出候節者右兩波戸場より守衛一人安治川番所迄
 乗着べくい本船より荷揚いたし節者本船番士
 より送り状相請取安治川番所江相届同所より守
 衛一人為乗込居留地及び運上所兩波戸場江可乗
 廻規則ニ付嚴重可得其意い条相背い者於有之者
 船荷物取揚い上船主船頭迄も屹度可及沙汰事
 一交易商法之為神戸表江差越外國人より荷物買取
 當所江積廻し節者神戸運上所江申出免狀可申
 請い且又神戸ニおはい外國人ニ約定いし一當所

より荷物相送り節者當所運上所江願出免狀申
 請候上可積出い左い而右兩条共ニ免狀を以て安
 治川番所之改可請事

但水津尻無川より輸出入いし候者不相成
 候条若相背者於有之者荷物取上げ荷主船頭迄
 も屹度可及沙汰事

一船商賣之者神戸表より外國人荷物積廻し節者
 勿論外國人より乗せ来い節も安治川改番所江相着
 け改可請べくい条若等閑ふいたし者ハ船者取

揚げの上船主船頭迄も屹度可及沙汰事
一近港又者川口江碇泊いし居日本船江荷物積
出し節者荷主より品立書にて番所江相届改
て可請事

但近港又者川口より陸揚いし節も可準之
一遠國江荷物積送り節者送り状取揃船頭番所江持
参いたし其品立書にて改て可請事

但遠國より輸入いたし船も可準之
右之條く三郷町中末迄も不洩様可相觸者也

辰七月十四日

○同觸書

一今般大阪開港不付而者追々數多之外國人渡来市
中徘徊も可致いし不礼法外之所業等無之様嚴重
可相心得事

一外國人交易之儀者何れも日限を定め商法取組
馴ひし處是迄我
朝において通常之商法と相心得良もをきハ期限
を過し互に政府之裁判に相掛り余程手數不及い

後屢有之不可然事ト尔来外國人江對ナ商法条約取組ニ節者熟算之上期限相定等開之ヲ所業無之樣嚴重可相心得事

一外國人貿易場及ハ雜居之儀者居留地南方之町家而已ニ取極有之ハ處近來右之外市中町家共外國人江藏貸渡ハ者有之哉ト相聞取締モ不行届不可然事ト尔来右定約地之外藏貸渡ハ儀一切不相成ハ条若心得違之者有之トおハてモ其藏取揚此度可及沙汰事

右之條々三郷町中末、迄不洩様可相觸者也

辰七月

○居留地地面糶貸

以手紙致啓上ニ然者来ル我七月廿九日ト以當所各國人居苗地ハ所糶貸致ハ付則居留地區分并ニ道路番号坪數委細書載セ了別紙圖面兼而差進ト置ハ問貴國屬民等江早々御布告可有之ハ此段得御意ハ以上

辰七月廿六日

五代才助

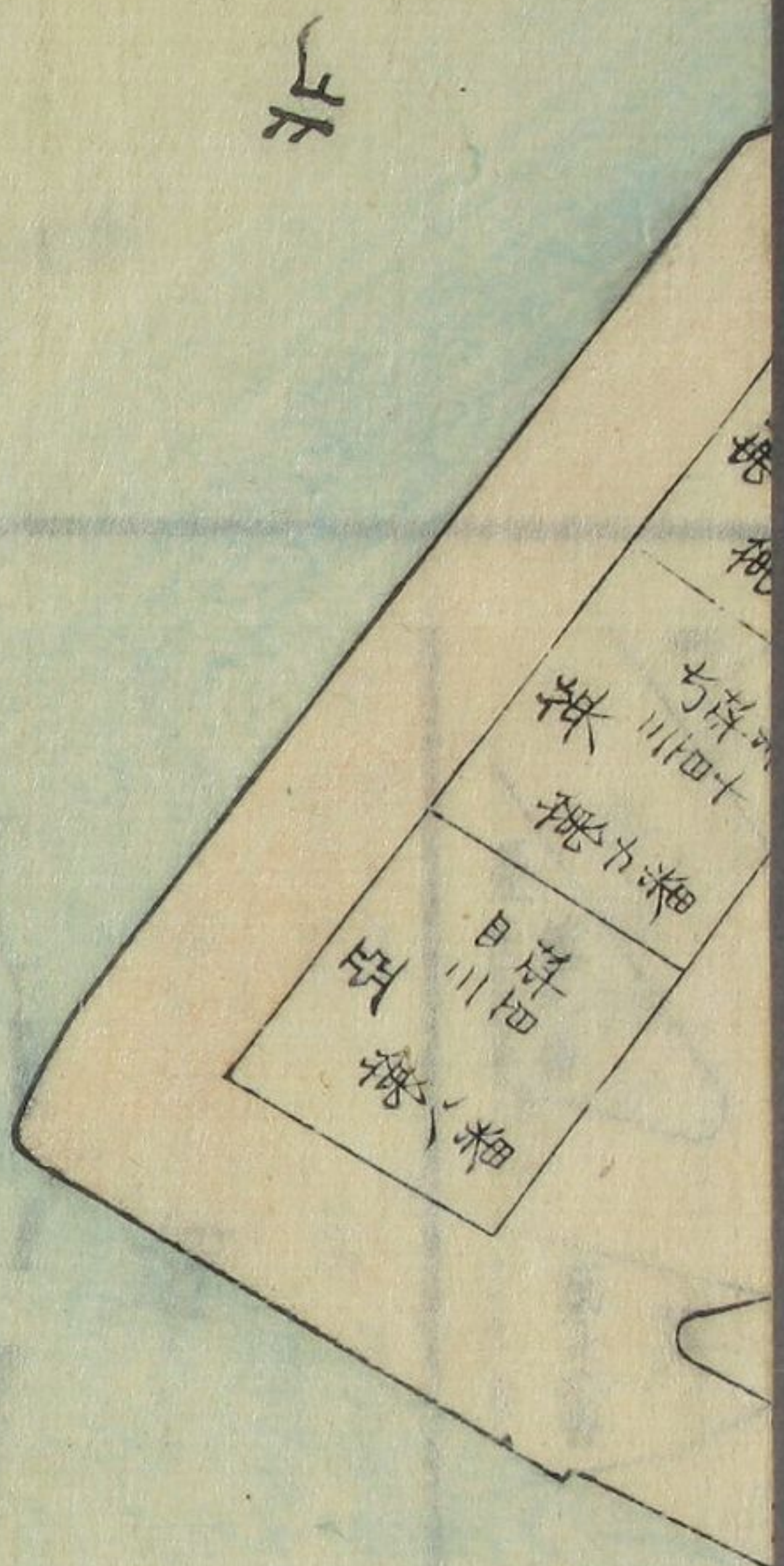
大阪外國人居留地之圖



馬車路

地代元金一坪金二兩...

園入各番地之圖



増金左之通

一 第一番	英商レース	同	金三兩二分永六十二文五ト
一 第二番	同アルヒウス	同	金四兩
一 第三番	同ゴルドスミンキリヒ	同	金三兩二分
一 第四番	同イトーン	同	金三兩一分永六十二文五ト
一 第五番	宇商グンチーヨ	同	金三兩永六十二文五ト
一 第六番	佛商ハアブルグマ	同	金三兩永百二十五文
一 第七番	英商サタエタリ	同	金三兩一分と永六十二文五ト
一 第八番	亞商レース	同	金二兩三分永十二文五ト

一坪子付元代合

- 一第九番 同ソレルニテイルン 同 金三兩二分永二十五文
- 一第十番 佛商スズツネド 同 金三兩永六十二文五ト
- 一第十一番 宇商シヨモツメ 同 金三兩一分永二十五文
- 一第十二番 英商ヲールト 同 金三兩永七十五文
- 一第十三番 白商アデリアン 同 金三兩一分
- 一第十四番 亞商ウテルス 同 金四兩三分
- 一第十五番 同スイツペーケル 同 金四兩二分永百五十文
- 一第十六番 英商セーメジヨル 同 金三兩一分永二十五文
- 一第十七番 同ケルビー 同 金三兩永百八十七文五ト

- 一第十八番 同ガラバ 同 金三兩
- 一第十九番 宇商キイーウルク 同 金三兩永十二文五ト
- 一第二十番 英商ホブリン 同 金三兩永七十五文
- 一第二十一番 蘭商マキヨルトス 同 金三兩
- 一第二十二番 英商カラバ 同 金三兩二分永十二文五ト
- 一第二十三番 同タイエルスヒウイス 同 金八兩二分
- 一第二十四番 宇商キニフル 同 金三兩三分永十二文五ト
- 一第二十五番 蘭商テキストル 同 金三兩二分永六十二文五ト
- 一第二十六番 英商ハリー并フラスモル 同 金三兩一分永六十二文五ト

○大阪港外國人居留地所貸渡證書

一金何千何鎊請取申候右ノ付余日本政府之代リト
一何國何某江公け之繪圖面通幾百坪有之第幾
番屋敷永久貸渡之事實正也右貸渡セ一箇條者左
之通

千八百六十八年八月七日日本政府と外國諸公
使と取替セ一箇條書第五ヶ條ノ隨ハ一坪ノ付
金一分則地代惣高何程每年西洋九月十五日
當リ無相違岡士館江前金ノ可相納且右ヶ條

書第八ヶ條ノ隨ハ取極め一居留地取締入費
毎年無相違其コンシユル江相納ニ一坪ノ
付金一分之三分一ノ不可過且右第幾番屋鋪或
者一部之地日本と条約ヲ取結一外國人民ヲ除
く之外他人江讓るべし且讓る時ハ必雙方
之コンシユル江届出べし

右箇條之内違背有之時ハ日本政府より其コンシユ
ル江届出べし依而二通相認一通ハ貸主江渡置一通
者日本長官扣と致セ一者也

年月日

大阪日本長官

姓名印

官版不許翻刻

第一號ヨリ

追テ至千號

御用書寫楷製本所

大坂心齋橋通南本町

敦賀屋為七

